

鳥取県立図書館の目指す図書館像の改訂に係るパブリックコメントの実施結果について

図 書 館

1 実施期間 令和5年1月10日（火）から同月31日（火）まで

2 意見数 11件（7名）

3 主な意見と対応方針

分類	意見の概要	対応方針
反 映	【電子書籍の利用件数目標値】 サービス指標について、電子書籍の利用件数が当初20,000件というのは過大だと思う。	令和5年度の導入が年度中途になる見込みであることや他県での導入実績等を踏まえ、目標値を下方修正する。
	【用語解説】 「読書バリアフリー」と「アクセシブルな書籍」については、用語解説があった方が良いと思う。	国や県の読書バリアフリーに関する計画の定義に準じて「アクセシブルな書籍等」の用語解説を行う。 「読書バリアフリー」については、既に本文の中で説明を行っている。
盛 り 込 み 済	【非来館型サービス】 災害対策の項目の中に、非来館型サービスがあるのは違和感がある。 非来館型サービスは、読書バリアフリー等との関連もあるので、デジタル化資料の利活用の項目を広げる形で記載してはどうか。	災害対策には感染症対策も含まれ、その一つとして非来館型サービスがある。 非来館型サービスと図書館のデジタル化及び読書バリアフリーとの関係については第4の柱において記載している。
	【読書バリアフリー、居場所としての図書館】 「読書バリアフリー」と「居場所としての図書館」は、キーワードの中で記載してはどうか。	「読書バリアフリー」や「居場所としての図書館」はサービスの方向性であるため、第1の柱と第2の柱で記載している。
そ の 他	【図書館内のデジタル化】 県立図書館内も抜本的にデジタル化を図ってはどうか。（W i - F iの自由利用、パソコン用電源の提供等）	今後の取組において対応を検討する。
	【職員の増員】 県立図書館を日頃から利用し大変満足しているが、職員に余裕がないように思う。サービスを維持し更に充実させていくために、職員をもう少し増やしてはどうか。未来への投資だと思う。	職員が活力を持って働けるように事業の見直し等に取り組んでいく。
	【電子書籍サービス導入】 教育現場でもICT活用は必須であり、電子書籍サービスの導入が記載されたのは大変ありがたい。	電子書籍が学校での探究的な学習等で使いやすくなるよう検討を進める。